



個の力を地域の力に 防災意識を高め、助け合う

宇和島市自主防災組織連絡協議会
会長 宮本 直明 さん

自主防災組織連絡協議会は、自分たちで協力して地域を守るために結成される自主防災組織の協議会です。現在本市では400を超える数の自主防災組織があり、その中心となる防災士も800人以上います。防災士連絡会と連携し、地域の防災意識を高める活動を行っています。



宇和島市防災士ブラッシュUP研修 地震津波対策コース [平時・初期対応編]

🕒 12月11日(日) 8時30分～正午

📍 丸山公園陸上競技場

📞 危機管理課復興まちづくり推進係 ☎49-7083

申込はこちら



皆さんは災害に対する備えをどのくらいしていますか。例えば、大きな地震が来たとき、津波が来るまでに避難できるタイムリミットは1時間以内と言われています。この限られた時間で避難するためには、物理的な備えだけでなく、避難場所や助けが必要な人の情報、近くに住む人同士の協力が必要です。

宮本さんは、自主防災組織があることで、助かる命があると熱を込めて話します。市内の全地域で組織を結成するために、防災士連絡会と協力し、まだ結成されていない地域で抱える課題解決や組織の積極的な活動につながるような取り組みを行っています。

その一つが防災士ブラッシュUP研修です。この研修は、自主防災組織で中心的な役割を担う防災士が、災害に対する知識や避難方法、応急手当などの実技を習得することが目的です。学んだ内容を地域へ持ち帰り共有することで、自主防災組織の防災力（自助・共助）が強化されることを期待しています。

防災は今備えることが大切です。自分たちの力で地域を守るために、今できることを始めてみませんか。